

令和6年度行政評価結果
(令和5年度実績分)

日出町政策企画課

【 令和6年度行政評価結果（基本事業） 】

1 評価対象

基本事業89事業（施策7の11基本事業を除く全ての基本事業）

2 評価結果

「A」評価（R5目標値達成率100%）	28事業（31.5%）
「B」評価（R5目標値進捗率90%以上100%未満）	32事業（35.9%）
「C」評価（R5目標値進捗率80%以上90%未満）	22事業（24.7%）
「D」評価（R5目標値進捗率80%未満）	7事業（7.9%）

昨年度の評価結果より、「A」評価は3事業、「B」評価は2事業の増加。対して、「C」評価は4事業、「D」評価は1事業の減少となり、全体として改善が見られる結果となった。

【 令和6年度行政評価結果（事務事業） 】

1 評価対象

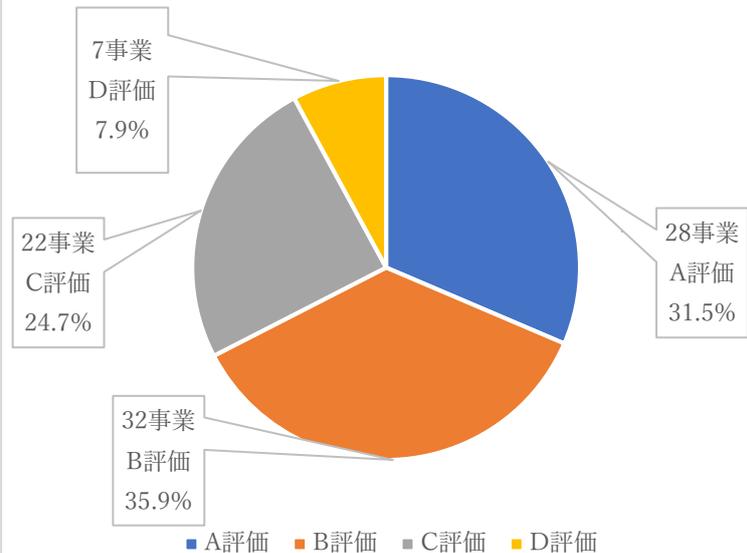
事務事業116事業（全事業ヒアリング実施）

2 評価結果

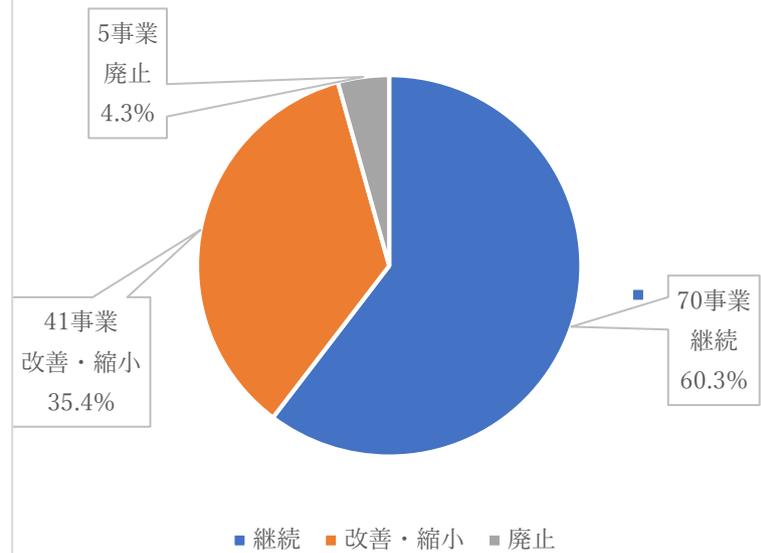
継続	70事業（60.3%）	改善	40事業（34.5%）
縮小	1事業（0.9%）	廃止	5事業（4.3%）

昨年度の評価結果より、「継続」は10事業の減少。対して、「改善・縮小」は12事業、「廃止」は2事業の増加となった。直近5年間で新型コロナウイルスの影響等により社会情勢は大きく変化している。その変化に対応できるよう事業の改善を行い、より良い事業実施を目指す必要がある。

基本事業における評価結果



事務事業における評価結果



1-1 健康づくりの推進

担当課:健康増進課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
お達者年齢	男性 80.0 歳 女性 85.0 歳	男性 80.7 歳 女性 84.4 歳	男性 81.0 歳 女性 85.4 歳
自分が「とても健康」「まあまあ健康」だと感じている町民の割合	65.0%	82.0%	80.0%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-1-1 地域における健康づくりや食育の推進 **重点P**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
地域での健康づくり活動を行うボランティア養成数(年間)	320 人	305 人	340 人
地域や職域における普及啓発回数(年間)	27 回	28 回	30 回
20歳の時の体重から10キロ以上増加している人の割合(削減目標)	34.1%	41.3%	33.0%

【評価コメント】

「地域や職域における普及啓発回数」は、前年度と比べ12回増やし、目標値を達成した。一方で、「地域での健康づくり活動を行うボランティア養成数」は増えていない。R6年度、R7年度は、最終目標値340人の養成に向けて、ボランティア養成講座を計画的に開催して頂きたい。また、「20歳の時の体重から10キロ以上増加している人の割合」については、性別や年代、その他要因等、分析し、適切な取り組みを検討して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
健康増進事業	継続
食育推進事業	継続

基本事業 1-1-2 食育の連携強化

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
連携した関係部署や団体数(年間)	44 力所	50 力所	54 力所
食に関する普及啓発活動数(年間)	50 回	108 回	50 回

【評価コメント】

「連携した関係部署や団体数」及び「食に関する普及啓発活動数」の両指標とも、前年度と比べ大幅に増加し、目標値を達成した。新たに連携した関係部署、又は団体と連携を強め、引き続き、計画的に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
食育推進プロジェクト「やさイト！」事業	廃止

基本事業 1-1-3 健診(検診)受診率の向上

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
健診受診率向上施策の取り組み回数(年間)	40 回	29 回	46 回
過去1年間に健診や人間ドックを受けたことのある町民の割合	78.0%	82.2%	80.0%
特定健診受診率(国保)	43.0%	—	45.0%

【評価コメント】

「過去1年間に健診や人間ドックを受けたことのある町民の割合」は、目標値を達成している。一方で、「健診受診率向上施策の取り組み回数」は、R3年度からR5年度までの3年間、未だに基準値を下回っている。昨年度の指摘同様、R6年度からは、最終目標値46回を課内で再確認、共有し、広報や勧奨通知、健康診断受診向上キャンペーンなど、年間スケジュールを作成、管理するなどし、健診受診率の向上に向けて、計画的に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
がん検診推進事業	継続

基本事業 1-1-4 生活習慣病予防対策の推進

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
生活習慣病予防教室開催数及び参加者数	40 人/回	0 人/回	50 人/回
特定保健指導実施率(国保)	52.8%	—	54.0%
地域における健康相談実施数(年間)	18 回	0 回	21 回

【評価コメント】

これまでコロナ禍でも開催を継続してきた「生活習慣病予防教室」と「地域における健康相談」が、R5年度は、両方とも1度も開催していない。健康増進課として、年間スケジュール等を作成、管理するとともに、生活習慣病予防対策の推進に向けて、「生活習慣病予防教室」と「地域における健康相談」を計画的に開催して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
健康増進事業	継続

基本事業 1-1-5 こころの健康づくりの推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
ゲートキーパー研修の受講者数(年間)	600 人	553 人	600 人
こころの相談会の利用者数(年間)	75 人	42 人	75 人

【評価コメント】

「ゲートキーパー研修の年間受講者数」は、目標値に達していないものの、R5年度は、若者のこころの健康づくりを視点とし、中学生と高校生を対象に研修を開催したことで、受講者数を大幅に増加させたのみならず、その研修の効果は大きいと思われる。引き続き、毎年度その年度の取り組み強化対象等を決めるなど、計画的に取組みを進めて頂きたい。「こころの相談会の年間利用者数」については、こころの相談会の開催に係る周知広報を強化して取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
自殺予防対策強化事業	継続

基本事業 1-1-6 医療機関との連携強化

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
「かかりつけ医」のいる町民の割合	78.0%	70.1%	80.0%
日出町健康課題連携会議の開催数(年間)	1回	0回	1回以上

【評価コメント】

「かかりつけ医のいる町民の割合」は、目標値に達していないものの、無受診者に対する健診受診勧奨と併せて、かかりつけ医に関する啓発に取り組んでいる成果が少しずつ出ていると言える。引き続き、かかりつけ医に関する啓発に取り組んで頂きたい。「日出町健康課題連携会議」については、昨年度の指摘から改善が見受けられない。本会議が重要かつ必要な会議であるならば、早急に設置及び開催に向けて具体的にに取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	構成される事務事業
骨髄移植ドナー等支援事業	継続

基本事業 1-1-7 新たな健康リスクへの対応

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
町報、回覧、ホームページ等による町民への周知回数	3回	55回	3回
健康教室の開催回数(年間)	5回	0回	6回

【評価コメント】

R5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、今後、本基本事業は縮小となる。但し、新型コロナウイルス感染症の罹患者がゼロではないため、今後も感染予防やワクチン接種等について、適切な啓発周知に取り組んで頂くとともに、適時、必要に応じて、健康教室の開催も検討して頂きたい。

1-2 地域福祉の推進

担当課:介護福祉課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
地域ぐるみで支えあう福祉体制が整備されていると感じる町民の割合	55.0%	51.4%	70.0%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-2-1 地域福祉の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
ここ 1 年以内に地域活動やボランティア活動に「参加したことがある」と回答した町民の割合	55.0%	42.2%	70.0%
「広報ひじ」や「社協だより」での地域福祉啓発記事の掲載件数(年間)	広報ひじ 3 回 社協だより 4 回	広報ひじ 0 回 社協だより 4 回	広報ひじ 4 回 社協だより 4 回

【評価コメント】

「社協だよりでの地域福祉啓発記事の掲載件数」は、毎年度、計画的に実施されており、目標値を達成している一方で、「広報ひじでの地域福祉啓発記事の掲載件数」は、R5年度、1回も実施していない。また、「ここ1年以内に地域活動やボランティア活動に参加したことがある」と回答した町民の割合は、新型コロナウイルス感染症の5類移行の環境的要因もあり、前年度より向上したものの、目標値の達成には至っていない。地域活動やボランティアなど地域での支え合いの機運を醸成するために、毎年度、計画的に啓発広報を実施し、もって、地域福祉の推進に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
社会福祉協議会補助事業	改善

基本事業1-2-2 支え合いの仕組みづくり

【指標の達成状況】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
包括的相談支援連携会議の開催回数(年間)	2 回	1 回	2 回

民生委員・児童委員の研修受講率(%)	100%	97%	100%
まちづくり協議会(地域運営自主組織)及び類似組織の設立数	6 団体	1 団体	6 団体
住民見守りネットワーク主催の連絡会・研修等の開催回数(年間)	1 回	1 回	2 回
生活困窮者自立支援制度の周知回数(年間)	4 回	0 回	4 回

【評価コメント】

「民生委員・児童委員の研修受講率」は、目標値に達していないものの、前年度より受講率は順調に向上している。また、「住民見守りネットワーク主催の連絡会・研修等の開催」としては、R5年度に日出町居住支援協議会が設立され、居住に関する官民連携ネットワークが構築された。引き続き、重層的支援体制整備事業の本格実施に向け、関係機関と十分協議、連携し、ネットワーク整備、研修等に取り組んで頂きたい。「包括的相談支援連携会議の開催」及び「生活困窮者自立支援制度の周知」については、年間スケジュール等を作成するなど、未開催、又は未実施とならないよう、管理を徹底し、計画的に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
老人福祉費	改善
在宅老人福祉事業(老人クラブ活動等社会活動促進事業)	改善
多世代交流・支え合い活動推進事業	継続
包括的相談支援体制整備事業	継続
重層的支援体制整備事業	継続

基本事業1-2-3 災害時の支援体制

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
避難行動要支援者個別支援計画を策定した要支援者の割合 ※R3.5 に法改正	80.0%	20.9%	100%

【評価コメント】

「避難行動要支援者個別支援計画を策定した要支援者の割合」は、20.9%であり、目標値に対し、大きく下回っている。計画策定率の向上には、まずは、避難行動要支援者の対象者の同意率の向上に取り組む必要がある。避難行動要支援者個別支援計画策定に関する啓発広報や未策定者への策定再勧奨等、区長や民生委員などと十分連携し、取組みをさらに強化して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
災害時要援護者管理システム事業	継続

1-3 高齢者福祉の推進

担当課:介護福祉課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
要介護認定を受けていない 65 歳以上 75 歳未満の割合	96.5%	97.4%	96.5%
要介護認定を受けていない 75 歳以上の割合	70.9%	74.6%	70.9%
住民主体の地域活動団体数(累計)	62 団体	59 団体	70 団体

■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-3-1 介護予防・重度化防止の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
住民主体の地域活動団体数(累計)	62 団体	59 団体	70 団体
地域ケア会議開催回数(年間)	19 回	20 回	19 回
ほほえみ広場の参加者数(年間)	771 人	953 人	900 人
要介護認定率	17.0%	15.5%	16.9%
要介護等状態区分が維持または改善した者の割合	67.3%	58.8%	67.5%

【評価コメント】

「地域ケア会議開催回数」、「ほほえみ広場の参加者数」及び「要介護認定率」の3指標のいずれも目標値を達成した。また、「住民主体の地域活動団体数」は目標値には達していないものの、前年度から3団体が増えた。引き続き、通いの場等のない地区に対して、働きかけに取り組んで頂きたい。一方、「要介護等状態区分が維持または改善した者の割合」については、前年度より3%下がった。当該要因等を十分分析し、地域ケア会議等で関係機関と共有するなどし、要介護等状態区分の維持又は改善の取組みを強化して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
在宅高齢者住宅改造助成事業	改善

基本事業1-3-2 介護保険制度の持続

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
介護ボランティア養成者数(年間)	25 人	9 人	30 人
エプロン隊の活動回数(年間)	205 回	218 回	360 回
要介護認定の適正化にかかる調査員検討会開催回数(年間)	6 回	4 回	6 回
ケアプランの点検事業所数(年間)	5 事業所	3 事業所	7 事業所
実地指導を行った介護事業所数(年間)	4 事業所	3 事業所	5 事業所

【評価コメント】

「エプロン隊の活動回数」は、順調に活動が活性化しており、R5年度は目標値を達成した。現状の取組みを継続して頂きたい。一方、「介護ボランティア養成者数」、「要介護認定の適正化にかかる調査員検討会開催回数」、「ケアプランの点検事業所数」及び「実地指導を行った介護事業所数」の4指標については、目標値に達していないのみならず、その取組みが低下したものもある。介護給付の適正化のため、課として、年間スケジュール等を作成、管理し、介護ボランティア養成講座及び調査員検討会議の開催やケアプラン点検及び実地指導の実施について、計画的かつ着実に取り組んで頂きたい。

基本事業1-3-3 地域生活支援体制の整備

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
地域包括支援センターでの総合相談件数(年間)	246 件	656 件	250 件
緊急通報装置設置世帯数(累計)	250 世帯	207 世帯	270 世帯

【評価コメント】

「地域包括支援センターでの総合相談件数」は、目標値を大幅に超えて、達成している。これは、地域包括支援センターの相談支援体制の充実や町民の認知度の向上等によるものと言える。引き続き、寄せられた相談に対して、関係機関と十分連携し、適切かつ丁寧に対応して頂きたい。また、「緊急通報装置設置世帯数」については、目標値に達していないものの、町民ニーズに合わせ、新たな緊急通報装置(携帯型+人感センサー)の普及に取り組んでいる。引き続き、独居高齢者等の事故防止など、地域生活支援体制の整備に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
高齢者等見守り支援事業	継続
老人在宅介護者手当助成事業	廃止
老人・身体障害者はり・きゆう助成事業	廃止

基本事業1-3-4 生きがいづくりの推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
企業訪問件数(再掲)	72 件	61 件	120 件
ボランティア講師登録者数(累計)	16 人	13 人	20 人

【評価コメント】

「企業訪問件数」は目標値に達していないものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、その件数は順調に伸びている。今後は、まちづくり推進課と十分情報共有、連携し、高齢者の雇用促進に取り組んで頂きたい。また、「ボランティア講師登録者数」も目標値に達していないものの、前年度より1名増加した。引き続き、日出町社会協議会や日出町老人クラブ連合会等と十分連携し、ボランティア等により高齢者の社会参加や生きがいづくりの推進に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
在宅老人福祉事業(老人クラブ活動等社会活動促進事業)	改善
日出町シルバー人材センター支援事業(まちづくり推進課)	改善

基本事業1-3-5 認知症高齢者支援対策の推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	1,440 人	1,514 人	1,500 人
認知症カフェ参加者数(年間)	270 人	179 人	300 人
認知症高齢者等SOSネットワーク協力事業者数(累計)	44 機関	39 機関	45 機関

【評価コメント】

「認知症サポーター養成講座受講者数」は、目標値を達成しており、R6年度も高校生を対象に実施する計画など、着実に取り組んでいる。また、「認知症カフェ参加者数」について、目標値には達していないものの、前年度に比べ、着実に参加者数を増やしている。R6年度も継続して取り組んで頂きたい。「認知症高齢者等SOSネットワー

ク協力事業者数」については、R3年度から1事業者も増えておらず、目標値の達成の見込みが立っていない。まちづくり推進課や日出町商工会等関係機関などと十分連携し、協力事業者数の増加に向け、取組みを強化して頂きたい。

1-4 障がい者福祉の推進

担当課:介護福祉課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
障がいの有無にかかわらず、生きがいを持ち安心して生活できると感じる町民の割合	67.0%	89.0%	70.0%
就労支援サービス利用から一般就労への移行者数	7人	6人	10人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-4-1 地域生活支援の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
日出町障害者等基幹相談支援センター主催の研修受講者数(年間)	20人	10人	30人
自立支援協議会地域生活支援部会開催回数(年間)	5回	0回	5回
障害福祉サービス新規利用者数(年間)	49人	56人	50人

【評価コメント】

「障害福祉サービス新規利用者数」は、3年連続で目標値を達成しており、相談事業所への障害福祉サービスの制度周知の成果と言える。引き続き、制度周知に取り組んで頂きたい。「日出町障害者等基幹相談支援センター主催の研修受講者数」については、目標値に達していないものの、R5年度は研修会を開催することができた。R6年度は、引き続き、日出町障害者等基幹相談支援センターと十分協議、連携し、対象者をさらに拡大して、研修会を開催して頂きたい。また、「自立支援協議会地域生活支援部会」は、R5年度も前年度同様、未開催であった。地域生活支援の推進のために、日出町障害者等基幹相談支援センターと十分協議し、本部会の開催に向けて取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
障害児通所支援利用促進事業	継続
軽度・中度聴覚障がい児支援事業	継続
障害者福祉年金給付事業	継続

基本事業1-4-2 障がい者の自立支援と社会参加の促進**【行政評価会議による評価】 B (概ね順調)**

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
障がい者への差別解消に向けた研修会等の開催回数(年間)	1回	1回	2回
外出支援に係る障害福祉サービス等利用者数(年間)	23人	23人	25人
就労支援サービス利用者数(累計)	127人	190人	130人
自立支援協議会就労支援部会開催回数(年間)	3回	0回	4回

【指評価コメント】

「障がい者への差別解消に向けた研修会等の開催回数」、「外出支援に係る障がい福祉サービス等利用者数」及び「就労支援サービス利用者数」の3指標は、いずれも目標値を達成した。特に、R5年度は、R3、4年度で未開催であった「障がい者への差別解消に向けた研修会等」を開催することができた。今後も、計画的に開催して頂きたい。「自立支援協議会就労支援部会」については、「自立支援協議会地域生活支援部会」同様、R4年度から未開催となっている。障がい者の自立支援と社会参加の促進のために、日出町障害者等基幹相談支援センターと十分協議し、本部会の開催に向けて取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
重度身体障がい者タクシー料金助成事業	改善
在宅重度障がい者住宅改造助成事業	改善

1-5 子育て支援の充実

担当課:子育て支援課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
子育てしやすい環境が整っていると思う町民の割合	82.0%	74.8%	85.0%
出生数	230人	208人	250人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-5-1 子どもを産み育てやすい環境づくり

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
子育て世代包括支援センター年間相談件数	2,360件	2,069件	2,500件
母子手帳アプリ「おひさまにここに」登録者数(累計)	660人	647人	1,000人
公園の施設に満足している町民の割合	67.0%	68.4%	70.0%

【評価コメント】

「子育て世代包括支援センター年間相談件数」の目標値達成率は87%で、R4からほぼ横ばいである。昨年度の指摘同様、子育て世代包括支援センター等の相談窓口について、町報やHP、SNSを十分活用し、周知を強化して頂きたい。また、「母子手帳アプリ登録者数」の目標値達成率は98%と高水準であるものの、その登録者数が伸び悩んでいる状況と言える。今後、当該アプリを十分活用するとともに、アプリ登録勧奨を強化して頂きたい。「公園の施設に満足している町民の割合」は目標達成しているものの、町民の満足度は決して高いとは言えない。子育て世代のニーズを都市建設課と十分共有し、連携して、町民が満足する公園づくりに引き続き取組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
利用者支援事業	継続

基本事業1-5-2 母子保健・福祉の充実

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
乳幼児健診受診率	4ヵ月 100% 1歳6ヵ月 100% 3歳児 98%	4ヵ月 97.6% 1歳6ヵ月 101.7% 3歳児 100%	4ヵ月 100% 1歳6ヵ月 100% 3歳児 100%
3歳児健診でのむし歯保有率	11.6%	17.0%	16.0%
乳児家庭全戸訪問実施率	100%	100%	100%

【評価コメント】

「乳幼児健診受診率」について、1歳6ヵ月健診と3歳児健診はその受診率が目標を達成しているものの、4ヵ月健診の受診率が目標未達である。R6年度は、4ヵ月健診の勧奨を強化して頂くとともに、R5年度の4ヵ月健診未受診者の把握とフォローに取り組んで頂きたい。

「3歳児健診でのむし歯保有率」と「乳児家庭全戸訪問実施率」の両指標とも、目標を達成している。今後も引き続き着実に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
子ども医療費助成事業	継続
任意予防接種事業	改善
家事育児支援事業	改善
産後ケア事業	継続

基本事業1-5-3 保育サービスの充実 **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
保育園・認定こども園等の待機児童数	0人	0人	0人
保育所等整備施設数(累計)	2箇所	2箇所	3箇所
病児・病後児保育利用可能施設(累計)	3箇所	3箇所	3箇所
ファミリーサポートセンター事業の会員総数(累計)	420人	719人	460人

【評価コメント】

これまでの施設整備の結果、「保育園・認定こども園等の待機児童数」がR3年度から初めて0人となり、待機児童が解消されたことは、大変素晴らしい成果である。また、「保育所等整備施設数」、「病児・病後児保育利用可能施設」及び「ファミリーサポートセンター事業の会員総数」の全ての指標でも目標を達成しているものの、ファミサ

ポのまかせて会員が増えていない課題もある。事業の委託先である日出町社会福祉協議会と十分連携し、ファミサポのまかせて会員を増やす取組みを強化するとともに、引き続き、保育環境の向上と保育サービスの充実に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
地域子育て支援事業	継続

基本事業1-5-4 放課後の子どもの居場所づくり **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
放課後子ども教室実施数(累計)	3 箇所	4 箇所	5 箇所
放課後児童クラブの支援単位数(累計)	12 単位	11 単位	12 単位

【評価コメント】

「放課後児童クラブの支援単位数」は、目標値の12単位に対し、R5年度実績時点では1単位不足しているものの、R6年度に豊岡地区において、放課後児童クラブの整備予定があり、また、藤原地区にも1単位増設の見込みがあり、R7年度の最終目標値の達成に向け、概ね順調である。引き続き、社会教育課と十分連携し、放課後の子どもの居場所づくりに計画的に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
放課後児童健全育成事業	継続
児童館運営事業	縮小
子どもの居場所づくり推進事業	改善

基本事業1-5-5 子どもの人権の尊重

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
要保護児童対策地域協議会の開催回数(年間)	12 回	12 回	12 回
児童虐待の相談通告先を「知っている」と答えた町民の割合	40.0%	48.5%	50.0%

【評価コメント】

「要保護児童対策地域協議会の開催回数」及び「児童虐待の相談通告先を知っている町民の割合」の両指標は、いずれも目標を達成しており、順調である。但し、「児童虐待の相談通告先を知っている町民の割合」が48.5%と決して高いとは言えず、また、R3年度から児童虐待の相談通告先の認知度が向上しているとは言いがたい。昨年度の指摘同様、児童虐待の相談通告先の認知度を向上させるために、従来のポスター掲示やチラシ配布などの取組みを継続するとともに、町 HP や町 SNS 等を活用し、啓発・周知の取組みを強化して頂きたい。

2-1 学校・園教育の充実

担当課:教育総務課、学校教育課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名		R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合		90.0%	90.6%	90.0%
「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合	小学校	79.7%	82.5%	80.0%
	中学校	76.6%	75.5%	77.0%
新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合(総合評価:A~E)	小学校男子	80.5%	78.6%	82.0%
	小学校女子	84.0%	82.3%	85.0%
	中学校男子	77.0%	75.2%	80.0%
	中学校女子	86.0%	84.2%	87.0%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 2-1-1 確かな学力の向上 **優先**

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名		R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合		90.0%	90.6%	90.0%

【評価コメント】

R4年度の課題として挙げられた各教員の授業力を向上させるため、R5年度に取組みを強化した結果、R5年度の「国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合」がR4年度から27ポイント大幅上昇し、目標を達成したことは、教育委員会、また、教員の皆様の努力の成果であり、大変素晴らしいことである。今後も成果を挙げている取組みを継続し、児童・生徒の確かな学力の向上に努めて頂きたい。

基本事業 2-1-2 豊かな人間性の育成

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名		R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合	小学校	79.7%	82.5%	80.0%
	中学校	76.6%	75.5%	77.0%

【評価コメント】

「自分によいところがある」と回答した小学生の割合は、R4年度から8.2ポイント上昇し、目標を達成した。一方で、「自分によいところがある」と回答した中学生の割合がR4年度から4ポイント下落し、目標未達となった。日出町の中学生の自己肯定感の水準が国・県の平均以下であることは、喫緊の課題であると言える。R6年度以降、児童・生徒の自己肯定感を高めるために、体験活動や人権教育など豊かな人間性を育む教育活動を強化し取り組んで頂きたい。

基本事業 2-1-3 健康・体力づくりの推進

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名		R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合(総合評価:A~E)	小学校男子	80.5%	78.6%	82.2%
	小学校女子	84.0%	82.3%	85.0%
	中学校男子	77.0%	75.2%	80.0%
	中学校女子	86.0%	84.2%	87.0%

【評価コメント】

「新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合」は、小学生男女、中学生男女とも目標達成には至らなかったものの、目標達成率がすべて97%を超えており、また、小学校男子、中学校男子、中学校女子においては、直近3年間のうちで最高数値である。引き続き、体育専科教員やタブレット端末など十分活用し、教員の指導力の向上を図るとともに、児童・生徒の健康・体力の更なる向上に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
各種競技九州、全国大会出場費補助事業	改善
部活動活性化推進事業	改善
フッ化物洗口事業	継続

基本事業 2-1-4 グローバル人材の育成

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
外国語指導助手(ALT)による授業を楽しいと答えた児童の割合	93.0%	95.0%	94.0%
教員が1週間にPC等の情報機器を活用する日数	3日	4日	5日

【評価コメント】

「外国語指導助手による授業を楽しいと答えた児童の割合」と「教員が1週間にPC等の情報機器を活用する日数」の両指標とも目標を達成しており、取組みは順調である。但し、英語を好きな中学2年生の割合は48.2%と依然として低い状況にある。今後、中学生が英語を好きになり、得意科目となるよう、工夫した授業に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
中学校外国語活動推進事業	改善
小学校外国語活動推進事業	継続

基本事業 2-1-5 特別支援教育の充実

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
「個別の指導計画」の作成率	100%	100%	100%

【評価コメント】

支援や配慮が必要な児童・生徒に対する「個別の指導計画」の作成率は100%であり、目標値を達成している。支援や配慮が必要な児童・生徒は、年々増加傾向にあるが、引き続き、当該児童・生徒のニーズに合った適切な支援に取り組んで頂きたい。

基本事業 2-1-6 幼児教育の充実

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
小学校教育とのつながりを意識した接続期の教育課程の見直しを行った回数	3.4回	4回	年4回
1学級15人以上の町立幼稚園の割合	80%	60%	100%

【評価コメント】

「小学校教育とのつながりを意識した接続期の教育課程の見直し回数」は目標値を達成しており、今後も引き続き、計画的に取り組んで頂きたい。「1学級15人以上の町立幼稚園の割合」は、5園のうち3園が学級基準を満たしており、目標値達成率は75%である。町立幼稚園の入園数は、R3年度より毎年ほぼ横ばいであり、また、少人数(5人未満)の幼稚園がないことを鑑みると、町立幼稚園に対する子育て世代のニーズは一定程度あると言える。今後は、町立幼稚園の施設改修など教育環境の整備を計画的に進めるとともに、より魅力ある幼稚園づくりと幼児教育の充実に取り組んで頂きたい。

2-2 教育環境の充実

担当課:教育総務課、学校教育課、学校給食センター

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
不登校児童生徒の出現率	2.0%	2.0%	2.0%
いじめ事案に対する解消率	90.0%	78.8%	90.0%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 2-2-1 子どもの学びの保障 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
不登校児童生徒の出現率	2.0%	2.0%	2.0%
いじめ事案に対する解消率	90.0%	78.8%	90.0%

【評価コメント】

「不登校児童生徒の出現率」は目標値を達成したものの、R5年度は不登校児童が増加している。引き続き、スクールカウンセラー等を十分活用し、児童・生徒が不登校にならないための取組みを強化し、また、不登校となった児童・生徒に対しては、フレンドリー広場等と十分連携し、早期の学校復帰に取り組んで頂きたい。「いじめ」に関して、発生した事案に対しては、スクールカウンセラー等を十分活用し、適切に対応して頂くとともに、いじめ撲滅を目指し、人間関係づくりプログラムの実施等、取組みを強化して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
スクールソーシャルワーカー活用事業	継続
フレンドリー広場事業	改善
日出町奨学金支給事業	改善

基本事業 2-2-2 時代の変化に対応した教育環境の整備

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
ICT 支援員の人数	2 人	2 人	2 人

【評価コメント】

「ICT支援員の人数」は、目標を達成している。ICT支援員については、学校教育課と十分連携し、適切な配置人数等、状況把握するとともに、今後も引き続き、学習用端末の更新や学校における通信環境の再整備等、時代の変化に対応した教育環境の整備に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
教育 ICT 環境整備事業	継続

基本事業 2-2-3 教職員の働き方改革の推進

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
教職員の1か月の平均超過勤務時間 (削減目標)	30 時間	28 時間	30 時間

【評価コメント】

「教職員の1か月の平均超過勤務時間」について、小学校・中学校とも目標を達成した。今後も引き続き、現在配置されているスクールサポートスタッフや部活動指導員を十分活用し、教職員の働き方改革を推進するとともに、教職員の心身の健康管理に努めて頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
中学校学習指導員活用事業	継続
小学校学習指導員活用事業	継続
中学校スクールサポートスタッフ活用事業	改善
小学校スクールサポートスタッフ活用事業	改善
部活動指導員活用事業	継続

基本事業 2-2-4 学校給食の充実

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
一日当たりの平均残菜率	10.0%	9.9%	10.0%
町内産野菜の使用率	26.6%	26.5%	27.6 kg

【評価コメント】

「一日当たりの平均残菜率」は、目標を達成している。また、「町内産野菜の使用率」は目標値に達していないものの、R4年度から0.9ポイント上昇し、目標値到達率99.6%と高水準である。今後も引き続き、農林水産課やJA等と積極的に連携し、町内産食材の使用率を向上させるとともに、町内産食材のPRにも取り組んで頂きたい。また、今後、給食の食材費等の高騰に対処するために、教職員等の給食費の値上げ等、検討を進める必要がある。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
学校給食食材調達事業	継続
学校給食調理事業	継続

基本事業 2-2-5 地域とともにある学校づくりの推進

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名		R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
外部人材を活用した特別授業を実施した開催数(年間)	小学校	18回	61回	20回
	中学校	13回	14回	15回

【評価コメント】

「外部人材を活用した特別授業を実施した開催数」は、小学校・中学校とも目標を達成している。今後も引き続き、地域人材等を十分活用し、多様な学習活動に取り組んで頂きたい。また、学校運営協議会と十分連携し、地域とともにある学校づくりの更なる推進に取り組んで頂きたい。

2-3 生涯学習・社会教育の推進

担当課:社会教育課、町立図書館

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
公民館主催教室やリーダー研修の参加者数(年間)	360人	554人	400人
町立図書館来館者数	95,000人	81,845人	100,000人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 2-3-1 地域活動の充実 **重プ①**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
住みよいまちづくりのための地域活動が大切だと思う割合	70.0%	87.3%	75%
地域リーダー養成研修開催回数(年間)	4回	2回	5回

【評価コメント】

「住みよいまちづくりのための地域活動が大切だと思う割合」は、目標値を達成しているものの、前年度と比べ、3.7%下がっている。また、「地域リーダー養成研修開催回数」は、前年度から1回増えたとは言え、目標値に達していない。今後は、コロナ禍で停滞していた公民館事業等を早急に再興するとともに、地域リーダーの育成に計画的に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
二十歳のつどい推進事業	改善
社会教育総務費	継続

基本事業 2-3-2 学習機会や学習内容の充実

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
公民館主催教室開催数(年間)	7教室	8教室	8教室
公民館主催教室参加者数(年間)	165人	473人	180人
各地区公民館だよりの発行回数(年間)	26回	11回	34回

自主教室開催数(年間)	36 教室	52 教室	38 教室
-------------	-------	-------	-------

【評価コメント】

「公民館主催教室開催数」、「公民館主催教室参加者数」及び「自主教室開催数」の3指標のいずれも目標値を達成したうえ、「公民館主催教室参加者数」は前年度と比べ、101人も増加した。引き続き、町民の多様なニーズに応じた教室等の充実を図り、町民への学習機会の提供に取り組んで頂きたい。「各地区公民館だよりの発行回数」については、R3年度から1度も目標値を達していない。また、その発行については、1度も発行していない地区があるなど、地区毎で差異が生じている。各地区の年間行事のみならず、周知啓発(公民館だよりの発行)も含め、年間スケジュール等を作成し、課又は係として、管理し、計画的に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
中央公民館費	継続
地域社会デジタル化事業	継続

基本事業 2-3-3 地域における子どもの健全育成

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
地区公民館放課後子ども教室開設数(累計)	3 箇所	4 箇所	5 箇所
体験活動教室などの開催数(年間)	55 回	51 回	60 回

【評価コメント】

「地区公民館放課後子ども教室開設数」は、目標値を達成しており、また、土曜日と長期休暇期間においては、全5地区で開設できている。また、「体験活動教室などの開催数」は、目標値に達していないものの、前年度より11回も増えた。引き続き、子どもへの学びの機会の提供に取り組むとともに、日出町子ども会育成会連絡協議会等関係機関と十分連携し、地域における子どもの健全育成に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
子ども会育成事業	改善
学校との連携・協働による「地域協育力」向上事業	継続

基本事業 2-3-4 読書のまちづくりの推進

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
町立図書館蔵書貸出数(年間)	125,000 冊	116,669 冊	130,000 冊
町立図書館内行事参加者数(年間)	1,100 人	7,654 人	1,600 人
子ども司書認定者数(累計)	32 人	25 人	40 人

【評価コメント】

「町立図書館蔵書貸出数」及び「子ども司書認定者数」の2指標については、目標を達成していないものの、毎年度着実な取り組みにより、実績値を順調に伸ばしている。令和6年度以降、更なる取組みの強化に努めて頂きたい。また、ブックスタートなどの新規事業により「町立図書館内行事参加者数」とリンクして、施策の成果指標である「町立図書館来館者数」も増加している。今後も年間来館者数1万人を目指して、魅力ある図書館づくりに取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
図書館運営事業	改善

2-4 芸術・文化・スポーツの推進

担当課:社会教育課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
文化協会会員数	790 人	522 人	810 人
週1回以上スポーツをした人の割合	52.5%	37.7%	56.0%
文化財施設年間来館者数【歴史資料館(帆足萬里記念館)・鬼門櫓・致道館の計】	13,500 人	11,154 人	14,000 人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 2-4-1 文化・芸術の振興と活用

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
産業文化まつり参加団体数(文化部門)	85 団体	50 団体	87 団体
文化協会会員数	790 人	522 人	810 人
伝統芸能・文化の継承者数(辻間楽・津嶋神楽)	23 人	21 人	25 人

【評価コメント】

「文化協会会員数」の減少に伴い、「産業文化まつり参加団体数(文化部門)」も減少しており、このままでは目標値の達成が見込めない。日出町文化協会と今の現状と課題、その解決策を十分協議し、引き続き、文化団体の活動支援に取り組むとともに、産業文化まつりの参加については、文化協会非会員の文化団体にも広く周知し、まちの文化・芸術の振興に取り組んで頂きたい。「伝統芸能・文化の継承者数」は、目標値に達していないものの、地域伝統芸能保存継承事業の成果として、3名増加した。引き続き、地域伝統芸能の継承に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
芸術文化振興事業	改善

基本事業 2-4-2 歴史文化遺産を活かしたまちづくり

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
歴史資料館での特集展開催回数(年間)	3 回	3 回	3 回

歴史・文化財に係る年間広報活動(広報特集・HP コラムの計)	20件	21件	20件
文化財施設年間来館者数【歴史資料館(帆足萬里 記念館)・鬼門橋・致道館の計】	13,500人	11,154人	14,000人

【評価コメント】

「歴史資料館での特集展開催回数」及び「歴史・文化財に係る年間広報活動」は、毎年度、計画的に実施されており、R5年度も目標値を達成した。一方で、「文化財施設年間来館者数」は、前年度とほぼ横ばいであり、R5年度も目標値に達していない。歴史資料館では、毎年度、工夫された質の高い特集展が開催され、また、3つの文化財施設は、観光拠点である二の丸館にも近く、立地の上でも好条件である。今後は、町内外から多くの来館者を誘致するために、さらに広報を強化、工夫するとともに、まちづくり推進課やひじ町ツーリズム協会と十分連携し、歴史文化の継承と観光振興にも取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
歴史先哲資料保護費	継続

基本事業 2-4-3 生涯スポーツの振興 優先

【行政評価会議による評価】 B (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
スポーツに係る周知啓発回数(年間)	2回	3回	4回
総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」会員数	260人	355人	280人
スポーツ少年団への加入率(小学生)	22.0%	17.0%	24.0%

【評価コメント】

「総合型スポーツクラブひまわりのたねの会員数」は、目標値を達成しており、年々増加傾向にある。一方、「スポーツに係る周知啓発回数」は目標値を達成しているものの、各種スポーツ大会等の参加者数は、あまり伸びていない。今後は、広報・啓発活動をより工夫して、効果的に取り組んで頂きたい。「スポーツ少年団への加入率」については、これまで1度も目標値を達成しておらず、減少傾向にある。今後、総合型地域スポーツクラブも含め、スポーツ少年団に対する社会教育課としての方針や取組みを十分精査し、これからの時代に合った、スポーツを通じた青少年健全育成に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
総合型地域スポーツクラブ自立支援事業	改善
総合型地域スポーツクラブマネージャー設置事業	改善
体育振興費補助金事業	改善

基本事業 2-4-4 競技スポーツの振興

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
大分県民体育大会で入賞(1~3位)した競技種目数	21 競技	22 競技	23 競技
スポーツ指導者研修会の参加者数(年間)	56 人	28 人	70 人

【評価コメント】

「大分県民体育大会で入賞した競技種目数」は、R5年度も目標値を達成したものの、R4年度より入賞した競技種目が減少している。また、「スポーツ指導者研修会の参加者数」は、目標値に達成しておらず、R3年度から毎年度減少している。競技スポーツの振興のため、大分県民体育大会等の成績や各競技スポーツ団体の活動等を広く広報するなど、競技スポーツ人口の拡大に取り組むとともに、昨年度の指摘同様、スポーツ指導者研修会の対象者範囲を、スポーツ少年団の指導者だけに限定せず、日出町スポーツ協会加盟団体の指導者まで拡大し、指導者の育成に計画的に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
スポーツ協会補助金事業	改善

3-1 防災・減災対策の推進

担当課:総務課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
備蓄物資確保数	1,800 人分	1,800 人分	1,800 人分
災害時応援協定等締結団体数	35 団体	35 団体	37 団体

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 3-1-1 避難所・備蓄物資等の充実

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
指定避難所の耐震化率	100%	100%	100%
備蓄物資確保数(想定避難者数分)	1,800 人分	1,800 人分	1,800 人分

【評価コメント】

「指定避難所の耐震化」は、全ての施設において、R3年度時点で、耐震化は完了しており、また、「備蓄物資確保数」も目標値の1,800人分が確保されている。今後も指定避難所の整備及び備蓄物資の更新・充実を引き続き計画的に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
安心・安全まちづくり事業	継続

基本事業 3-1-2 防災訓練等の普及促進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
町補助金を活用した自治区数	9 地区	11 地区	10 地区
町独自の防災・避難情報発信ツール	3 本	3 本	4 本
防災士会による防災まち歩き・防災講話を活用した団体数	8 団体	4 団体	9 団体

【評価コメント】

アフターコロナの区の再活性化に伴い「町補助金を活用した自治区数」は大幅に伸び、目標値を達成した一方で、「防災士会による防災まち歩き・防災講話を活用した団体数」は伸び悩んでいる。防災士会による防災まち歩き・

防災講話の活用について、昨年度の指摘同様、区又は関係団体等に対し、積極的な周知に取り組んで頂きたい。また、「町独自の防災・避難情報発信ツール」については、防災無線、エリアメール、LINE の3ツール導入で目標を達成している。今後は、第4のツールとなる防災アプリの導入に向け、計画的に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
防災関連事業	改善

基本事業 3-1-3 災害対応・体制の構築・整備

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名		R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
災害時対応方策の見直し		適宜見直し (原則毎年度)	適宜見直し (原則毎年度)	適宜見直し (原則毎年度)
災害時応援協定等締結団体数		35 団体	35 団体	37 団体
主な団体	医療	1 団体	0 団体	1 団体
	避難収容	15 団体	15 団体	15 団体
	物資調達供給	15 団体	15 団体	15 団体
	応急復旧	4 団体	5 団体	6 団体

【評価コメント】

「災害時対応方策の見直し」については、必要に応じて適時実施されており、また、「災害時応援協定等締結団体数」については、R5年度に新たに九州電力送配電株式会社と締結し、目標値を達成している。災害時応援協定等締結団体について、今後、現状締結している団体(企業等)の業種及び災害時における支援内容等を十分把握するとともに、現状では災害時に不足が予想される支援内容等を十分精査し、新たな災害時応援協定等締結団体を模索して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
防災施設整備事業	継続

3-2 安全な暮らしの推進

担当課:総務課、政策企画課、都市建設課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
刑法犯認知件数	前年比減	31件(11件↑)	前年比減
交通(人身)事故発生件数	47件	41件	43件

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 3-2-1 防犯対策の推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
刑法犯認知件数(年間)	前年比減	31件(11件↑)	前年比減
自主防犯組織(防犯パトロール隊)数	12団体	11団体	13団体

【評価コメント】

「刑法犯認知件数」について、R4年度まで減少傾向にあったが、R5年度は大きく増えている。増加原因と増加傾向にある犯罪を十分分析し、防犯カメラの設置情報も含め、犯罪被害防止のための啓発広報の取組みを強化して頂きたい。また、「自主防犯組織数」については、ここ数年間、1団体も増えていない。R6年度以降は、各種関係団体等に対し、自主防犯組織(防犯パトロール隊)の新たな担い手になって頂けるための働きかけに取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
防犯対策事業	継続

基本事業 3-2-2 交通安全活動の推進

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
免許返納支援事業利用者数(年間)	129人	80人	139人
高齢者体験型交通安全教室参加者数(年間)	111人	34人	118人
街頭指導回数及び広報活動回数(年間)	75回	66回	81回

【評価コメント】

「免許返納支援事業利用者数」、「高齢者体験型交通安全教室参加者数」及び「街頭指導回数及び広報活動回数」のすべての指標で目標値に達していない。R5年度、免許返納支援事業利用者が免許自主返納者209人に対して、80人と低利用である要因として、制度の周知不足の可能性がある。R6年度は、制度周知を強化して頂きたい。また、高齢者体験型安全教室、街頭指導及び広報活動については、その実施方法を工夫するなど、交通安全活動の推進に向け、関係機関等と十分連携し、計画的に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
交通安全対策事業	改善

基本事業 3-2-3 交通安全施設等の整備

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
危険個所に対する安全対策実施割合(累計)	90%	100%	100%

【評価コメント】

「危険個所に対する安全対策実施割合」は、100%で目標値を達成している。安全対策の実施については、町民の安全のために、危険個所を放置する訳にはいかない。財政課と十分協議のうえ、必要に応じて、予算の範囲を超えた場合であっても、必要に応じて、適切かつ迅速に交通安全施設等の整備に取り組んで頂きたい。

基本事業 3-2-4 消費者保護対策の推進

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
消費者相談に対する助言・斡旋回数(年間)	30件	41件	36件
高齢者・若年層への啓発活動回数(年間)	10回	19回	12回

【評価コメント】

「消費者相談に対する助言・斡旋」は、R3年度の水準に上方回復し、目標値を達成し、また、「高齢者・若年層への啓発活動」も、R3年度及びR4年度と比較して、飛躍的に啓発活動回数を増やし、目標値を達成した。但し、消費生活相談窓口や消費者保護制度の町民認知度は、40.5%と決して高いとは言えない。今後は、消費生活相談窓口等の町民認知度を向上させるための広報を強化するとともに、引き続き、消費者保護対策の推進に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
消費者行政費(政策企画課)	継続

3-3 消防・救急体制の充実

担当課:総務課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
火災発生件数	1 件	6 件	0 件
消防団組織率	87.8%	82.5%	90.4%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 3-3-1 火災予防の推進

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
火災発生件数	1 件	6 件	0 件
延焼発生件数	0 件	0 件	0 件

【評価コメント】

「火災発生件数」は、前年度より3件減少し、人家火災も0件であった。また、「延焼発生件数」も0件であった。R6年度も引き続き、消防団による火災予防広報の実施など、火災予防の推進に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
消防団運営事業	改善

基本事業 3-3-2 地域消防力の充実・強化 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
消防団員組織率	87.8%	82.5%	90.4%
消防学校課程修了団員数(年間)※操法課程除く	2 人	0 人	3 人
更新計画年数(20 年)を経過した積載車台数(削減目標)	0 台	0 台	0 台
更新計画年数(20 年)を経過した小型動力ポンプ台数(削減目標)	0 台	0 台	0 台

【評価コメント】

「更新計画年数を経過した積載車及び小型動力ポンプ」は、すべて更新済みであり、該当するものはない。「消防団員組織率」は、年々減少しており、今後は、町公式 SNS 等を活用するなど、消防団員の入団をより広く募集するとともに、R6年度からは、機能別消防団員の運用により、消防団員組織率を向上させ、地域消防力の充実と強化に取り組んで頂きたい。また、「消防学校課程修了団員数」については、昨年度の指摘同様、消防学校とスケジュール等を調整し、出来る限り通い易い条件を整え、消防学校課程修了団員の育成に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
消防施設整備事業	継続

4-1 商工業の振興

担当課:まちづくり推進課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
町内事業所数	1,185 件	1,138 件	1,200 社

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-1-1 中小企業の支援 **重プ③**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
企業訪問件数(累計)	72 件	61 件	120 件
広報紙による制度周知(累計)	6 件	24 件	10 件
町 HP(事業者支援情報)アクセス数(年間)	5,000 件	4,454 件	10,000 件
ふるさと納税返礼品数(累計)	475 品	795 品	500 品
ふるさと納税額(年間)	9.00 億円	8.95 億円	10 億円

【評価コメント】

中小企業の支援施策に関する「広報誌による制度周知」は計画的になされ、目標値を大きく上回っているものの、事業者等からの「町 HP アクセス数」が伸び悩んでいる。中小企業支援施策に関する情報提供が確実にされるよう町 HP での周知方法にも工夫が必要である。また、企業訪問件数について、R4年度より訪問件数が減少しており、R6年度は訪問計画等を作成し、計画的に訪問して頂きたい。ふるさと納税に関しては、「ふるさと納税返礼品数」と「ふるさと納税額」の進捗状況は順調である。ふるさと納税年間額10億円を目指して、さらに取組みを強化して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
商工団体振興対策事業	改善

基本事業 4-1-2 創業の支援と推進 **重プ③**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
創業スクール等参加者数(累計)	200 人	111 人	300 人

商店街の空き店舗等所有者への意向調査	—	—	1
商店街の活性化に向けたワークショップ等の開催回数(累計)	3回	0回	5回
空き店舗等を活用したトライアルスペースの利用事業者数(年間)	10件	18件	10件
創業者件数(累計)	40件	23件	60件

【評価コメント】

「商店街の空き店舗等所有者への意向調査」及び「空き店舗等を活用したトライアルスペースの利用事業者数」の両指標とも目標値を達成している。一方で、「商店街の活性化に向けたワークショップ等」が未だに未開催である。今後は、商店街の活性化のために、ワークショップ等の開催に計画的に取り組んで頂きたい。また、「創業スクール等参加者数」及び「創業者数」は目標値に達していないものの、毎年度、着実に増えている。引き続き、日出町商工会等と十分連携し、創業の支援と推進に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
創業支援事業	改善
店舗対策事業	改善

4-2 農林業の振興

担当課:農林水産課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
園芸の産出額	6.9 億円	6.8 億円	7.7 億円
畜産の産出額	3.7 億円	3.3 億円	4.1 億円
集落が取り組む共同活動件数	25 件	31 件	31 件

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-2-1 地域農業を支える人づくり

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
認定農業者新規認定件数(累計)	6 件	9 件	10 件
サポートチームによる新規就農者への営農支援(累計)	12 回	17 回	20 回
法人化を志向する農業者への相談支援(累計)	3 件	5 件	5 件

【評価コメント】

「認定農業者新規認定件数」、「サポートチームによる新規就農者への営農支援」及び「法人化を志向する農業者への相談支援」のすべての指標は、いずれも目標値を達成している。引き続き、新規就農者等への個別最適な支援に取り組むとともに、地域農業を支える人づくりに計画的に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
大分県親元就農給付金事業	継続
新規就農者負担軽減対策事業	継続
大分県中高年移住就農給付金	廃止
大分県産地が取り組むファーマーズスクール等支援事業	継続

基本事業 4-2-2 魅力あふれるものづくり

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名		R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
「園芸団地づくり計画」に基づく品目の増加作付面積		5.5ha	10.3ha	7.0ha
家畜飼養頭数	和牛	254 頭	297 頭	270 頭
	乳牛	362 頭	266 頭	370 頭
	養鶏	380 千羽	381 千羽	400 千羽
	養豚	5,897 頭	5,937 頭	6,000 頭
環境保全型直接支払事業取組み件数		1 件	1 件	1 件
ふるさと納税返礼品数(農業・畜産関連)		48 品	67 品	50 品

【評価コメント】

「園芸産地づくり計画(園芸産地づくり計画を含む)に基づく品目の増加作付面積」、「家畜飼養頭数(乳牛を除く)」、「環境保全型直接支払事業取組み件数」及び「ふるさと納税返礼品数(農業・畜産関連)」のすべての指標は、いずれも目標値を達成している。白いスイートコーン(白雪姫)や赤いスイートコーン(赤ずきんちゃん)のような新規作物をまちの新たな特産品化に向けた支援など、引き続き、魅力あふれるものづくりに計画的に取り組むとともに、関係課と十分連携し、まちの魅力の発信にも取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
肥育・繁殖牛生産性向上対策事業	廃止
園芸産地づくり計画策定・推進事業	継続
環境保全型農業直接支払交付金	継続
特定家畜伝染病防疫対策事業	継続
繁殖雌牛安定生産対策事業	継続
後継牛能力向上対策事業	継続

基本事業 4-2-3 活力ある地域づくり **重プ③**

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名		R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
「人・農地プラン」実質化件数		15 件	16 件	15 件
有害鳥獣駆除数(年間)	猪	540 頭	662 頭	540 頭
	鹿	170 頭	173 頭	170 頭
中山間地域直接支払事業取組み集落数(累計)		7 集落	7 集落	7 集落
多面的機能支払事業取組み団体数(累計)		8 団体	8 団体	9 団体

【評価コメント】

「人・農地プラン(地域計画)実質化件数」、「有害鳥獣駆除数」、中山間地域直接支払事業取組み集落数」及び「多面的機能支払事業取組み団体数」のすべての指標は、いずれも目標値を達成している。農地を次世代に適切に引き継いでいくために、地域と十分協議し、早期に地域計画を策定するとともに、引き続き、農地の集積・集約化に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	区分
国東半島宇佐地域世界農業遺産認定市町村支援事業	改善
農地集積・集約化事業	改善
有害鳥獣被害防止捕獲支援事業	継続
地域計画策定推進事業	継続
機構集積支援事業(農業委員会)	改善

基本事業 4-2-4 生産基盤の保全・整備

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
森林環境譲与税の有効活用による事業数	1 事業	2 事業	1 事業
防災・減災対策としての活用事業数	5 事業	4 事業	7 事業
土地基盤整備の新規取組み地区数	1 地区	1 地区	1 地区
地籍調査実施進捗率	75.0%	72.8%	81.0%

【評価コメント】

「森林環境譲与税の有効活用による事業数」及び「土地基盤整備の新規取組み地区数」の両指標は、目標値を達成している。また、「防災・減災対策としての活用事業数」及び「地籍調査実施進捗率」の両指標は、目標値を達成していないものの、いずれも着実に実施している。引き続き、計画的に生産基盤の保全・整備に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
森林環境整備事業	継続

4-3 水産業の振興

担当課:農林水産課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
漁獲量	164t	101t	168t
漁獲高	1.26 億円	0.70 億円	1.32 億円
1 経営体当たりの販売金額	7.15 百万円	7.0 百万円	7.5 百万円
大神市場における正・准組合員の平均水揚高	146 万円	129 万円	150 万円

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-3-1 地産地消・消費拡大の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
魚介類消費拡大イベント参加回数(年間)	5 回	5 回	5 回
地場産魚介類消費拡大イベント開催数(年間)	3 回	2 回	5 回
市場情報発信回数(年間)	12 回	12 回	12 回
ふるさと納税返礼品数(水産物・漁業関係)	32 品	32 品	33 品

【評価コメント】

「魚介類消費拡大イベント参加回数」は、前年度と比べ2回増え、目標値を達成し、また、「市場情報発信回数」も前年度と比べ9回増え、目標値を達成した。「地場産魚介類消費拡大イベント開催数」は、目標値に達していないものの、R3・R4年度の開催数0回に対して、R5年度は2回開催しており、取組みの向上が見られる。R6年度も引き続き、計画的に地産地消・消費拡大の推進に取り組んで頂きたい。また、ふるさと納税返礼品についても、新たな品目の追加を検討して頂きたい。

基本事業 4-3-2 魅力あふれるものづくり

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
マコガレイ放流尾数(大型種苗)	15,000 尾	0 尾	20,000 尾

クルマエビ放流尾数	290,000 尾	80,000 尾	290,000 尾
ガザミの放流尾数	65,000 尾	50,000 尾	65,000 尾

【評価コメント】

各種の放流尾数は、いずれも目標値に達していない。クルマエビとガザミの放流尾数は予算の範囲内で実施しているため、目標値到達は困難であるが、クルマエビとガザミの漁獲量及び漁獲高を把握し、コスト面から最適な各放流尾数を分析し、各年度の各放流尾数を決めるなど、より効果的かつ効率的な放流に取り組んで頂きたい。また、城下かれいは、まちの貴重なブランドであるため、今後も放流尾数の増加や放流種苗の更なる大型化など、かれいの漁獲量の確保に向け、取組みを強化して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
広域型増殖場中間育成事業	継続

基本事業 4-3-3 担い手の育成確保

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
新規就業者数及び漁業後継者数(年間)	3 人	1 人	5 人
漁業 PR 活動回数(年間)	3 回	5 回	5 回

【評価コメント】

「漁業PR活動回数」は、目標値を達成している。引き続き、大分県漁業協同組合日出支店など関係機関等と十分連携し、計画的に広く取り組んで頂きたい。「新規就業者数及び漁業後継者数」については、目標値に達していないものの、R5年度には県外から1名の漁業後継者が日出町に移住した。今後は、この移住者の支援に取り組むとともに、新たな漁業後継者の移住を促進するため、まちづくり推進課と十分連携し、水産業の新たな担い手の育成・確保に取り組んで頂きたい。

基本事業 4-3-4 漁港施設の維持管理

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
漁港等老朽化対策対象施設数	2 施設	2 施設	0 施設
藻場の新規保全箇所数	1 箇所	1 箇所	1 箇所

【評価コメント】

「漁港等老朽化対策対象施設数」及び「藻場の新規保全箇所数」の両指標とも目標値を達成している。今後も引き続き、計画的に漁港施設の維持管理に取り組んで頂きたい。

4-4 観光業の振興

担当課:まちづくり推進課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
観光消費額	69.0 億円	82.3 億円	70 億円
観光入込客数	127.0 万人	127.6 万人	130 万人
観光宿泊客数	26.6 万人	31.2 万人	27 万人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-4-1 効果的な情報発信

【指標の達成状況】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
観光情報サイトアクセス数(年間)	270,000pv	314,015pv	280,000pv
観光消費(飲食・購買等)につながるコンテンツのサイト掲載数	140 ページ	149 ページ	150 ページ
観光パンフレットの設置箇所数(町内外を問わず)	94 箇所	120 箇所	100 箇所

【評価コメント】

「観光情報サイトアクセス数」、「観光消費につながるコンテンツのサイト掲載数」及び「観光パンフレットの設置箇所数」の全ての指標において、目標値を達成している。R5年度の取組みの成果として、「観光消費額」や「観光入込客数」、「観光宿泊客数」の増加に着実に繋がっていると見える。特に、「観光情報サイトアクセス数」は R4年度に比べ、大幅に増加しているため、その要因等を十分分析し、R6年度以降も引き続き効果的な情報発信に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
観光振興事業	改善

基本事業 4-4-2 コンテンツのブラッシュアップと造成

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
観光滞在プラン(周遊、滞在、地域連携型)の商品化数	30 プラン	32 プラン	40 プラン

団体ツアー客誘致促進数	184 件	90 件	190 件
-------------	-------	------	-------

【評価コメント】

「観光滞在プランの商品化数」は、R3年度より3年度連続で目標値を達成しており、毎年度、計画的に取り組んでいる。一方、「団体ツアー客誘致促進数」は、R3年度より1度も目標値を達成していないのみならず、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したにもかかわらず、R5年度実績が前年度より5団体減少している。R6年度以降は、ひじ町ツーリズム協会と連携を強め、団体ツアー客誘致の取り組みを強化し、併せて、二の丸館年間来館者数の増加や二の丸館販売コーナーの売上額の増加に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
城下かれい祭り費	継続
ザビエルの道ウォーキング大会費	改善
デスティネーションキャンペーン関連事業	継続

基本事業 4-4-3 組織強化と連携

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
ひじ町ツーリズム協会 会員数	180 団体	169 団体	200 団体
二の丸館販売コーナーの売上額	670 万円	575 万円	700 万円
観光拠点(二の丸館)年間来館者数	49,800 人	20,063 人	50,000 人

【評価コメント】

「ひじ町ツーリズム協会会員数」は、やや減少傾向にあり、目標値を達成していない。当協会を脱会する団体の理由等を把握し、課題があれば、協会と協議、連携し、解決に努めて頂きたい。「二の丸館年間来館者数」及び「二の丸館販売コーナーの売上額」について、前年度から改善の目処が立っておらず、横ばい、もしくは、減少傾向にあり、現状のままでは、今後も目標値達成が見込めない。ひじ町ツーリズム協会と十分協議、連携し、二の丸館でイベント等を開催したり、的山荘等を活用し、団体ツアー客の誘致を強化したり、新たな日出町のお土産を造成したり、早急に具体的な対策を立て、取り組みを強化して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
ひじ町ツーリズム協会補助事業	改善

4-5 企業誘致と雇用の創出

担当課:まちづくり推進課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
企業誘致件数(令和3～7年度の累計)	9 件	5 件	15 件
雇用創出数(①+②)累計	300 人	45 人	500 人
新規雇用予定者数① ※企業誘致(新設、増設)による新規雇用予定者数	—	+21 人	—
新規雇用予定者数② ※半島振興法等に基づく支援による新規雇用予定者数	—	0 人	—

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-5-1 企業誘致の推進 **重プ③**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
企業訪問件数(累計)	72 件	61 件	120 件
町 HP(適地情報)アクセス数(年間)	3,600 件	2,613 件	6,000 件
大分県との連携事業を含めた県外企業訪問件数(累計)	36 件	13 件	60 件

【評価コメント】

「企業訪問件数」、「町 HP アクセス数」及び「大分県との連携事業を含めた県外企業訪問件数」は、いずれも累計数値となっているため、コロナ禍の影響により、いずれの指標もこれまで1度も目標値に達していない。しかし、R6年度は、新規事業を含め、その取組みの強化が予定されている。引き続き、企業誘致の推進に向け、計画的に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
企業立地推進事業	継続

基本事業 4-5-2 雇用の場の確保 重プ③

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
企業訪問件数(再掲)	72 件	61 件	120 件
広報紙による制度周知(再掲)	6 件	24 件	10 件
町 HP(事業者支援情報)アクセス数(再掲)	5,000 件	4,454 件	10,000 件
法令に基づく中小企業支援を受けた事業者数(累計)	40 件	21 件	70 件

【評価コメント】

「広報紙による制度周知」は目標値を大幅に超え、達成している。また、「企業訪問件数」、「町 HP アクセス数」及び「法令に基づく中小企業支援を受けた事業者数」の3指標は、コロナ禍の影響により目標値に達していないものの、毎年度、着実に取り組んでいる。引き続き、企業誘致の推進と併せて、雇用の場の確保に向けて、取組みを強化して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
日出町シルバー人材センター支援事業	改善

5-1 生活・自然環境の保全

担当課:住民生活課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
自然が保全されていると考える町民の割合	79.0%	84.3%	85.0%
町民1人あたりの1日あたり家庭ごみ排出量	600g	763g	518g

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-1-1 環境保全対策の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
公共用水域の環境基準(BOD・COD)達成率	90%	100%	100%
生活排水処理率	83.0%	81.9%	86.1%
SDGs ネットワーク登録者数(累計)	30人	30人	50人
町施設の電気使用量と電気使用料金(年間)	2,600,000kw 54,427円	2,656,962kw 59,999千円	2,600,000kw 54,427千円

【評価コメント】

「公共用水域の環境基準達成率」と「SDGs ネットワーク登録者数」の両指標は、目標値を達成している。「生活排水処理率」は目標値に達していないものの、毎年度着実に向上しており、今後も上下水道課と十分連携し、合併処理浄化槽の転換推進に取り組んで頂きたい。「町施設の電気使用料金」は増加傾向にあるものの、「町施設の電気使用量」は減少傾向にある。引き続き、環境負荷の少ない設備の導入等、町施設の節電対策に取り組むとともに、R6年度には日出町地球温暖化対策実行計画(区域編)を策定し、地域脱炭素の取組みを進めて頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
合併処理浄化槽設置整備事業	継続

基本事業 5-1-2 ごみの減量とリサイクルの推進

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
資源化(リサイクル)率	9.0%	7.4%	10.0%
搬入ごみ展開検査実施回数(年間)	2回	3回	3回

広報等による啓発回数(年間)	5回	4回	6回
----------------	----	----	----

【評価コメント】

「搬入ごみ展開検査実施回数」及び「広報等による啓発回数」について、昨年度の指摘事項を改善し、計画的に取り組んだ結果、目標値達成率が大幅に向上した。引き続き、R6年度も展開検査及び啓発広報を計画的に取り組んで頂きたい。「資源化率」について、取組みが進んでいるとは言えない。他市町村の状況と比較するなど資源化率が向上しない要因を分析し、取組みを強化して頂きたい。また、ごみの減量に向けた処理手数料の改定については、慎重審議をお願いする。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
ごみ減量化推進事業	継続
一般廃棄物処理対策事業	継続

基本事業 5-1-3 生活衛生の推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
生活衛生(ペット、野焼、騒音、悪臭等)に関する年間苦情件数(削減目標)	56件	133件	50件
狂犬病予防注射率	56.0%	57.1%	58.0%

【評価コメント】

「狂犬病予防注射率」は、3年度連続で目標値を達成している。一方で、「生活衛生に関する年間苦情件数」は、依然として、目標値達成の見込みが立たない状況が続いている。主な苦情である野焼きと樹木等の越境に関して、区長との情報共有や広報等による啓発など取組みを強化して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
猫の不妊・去勢手術費補助金	継続

5-2 良質な水道水の安定供給

担当課:上下水道課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
上水道有収率	82.0%	80.4%	83.0%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-2-1 安全な水の安定提供 **優先**

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
給水原価	106.0円	103.2円	106.0円
老朽管の更新率	1.20%	1.72%	1.30%

【評価コメント】

「給水原価」及び「老朽管の更新率」の両指標が、R3年度から初めて目標値を達成した。引き続き、安全な水の安定提供のために、現地調査等、地道な漏水調査を継続実施し、適切に老朽管を更新することにより、上水道有収率の向上に取り組んで頂きたい。

基本事業 5-2-2 水道施設の強靱化

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
耐震化実施施設数(累計)	8 施設	4 施設	8 施設

【評価コメント】

水道施設の「耐震化実施」については、用地取得等の理由により、その計画(目標値)に遅れが生じている。2024年1月1日に発生した能登半島地震でもわかるよう、地震等災害はいつどこで起きるかわからない。そのため、ライフラインである水道施設の強靱化は喫緊の課題と言える。耐震化未実施の4箇所については、実施可能となった施設から順次、早急に耐震化事業を着工して頂きたい。

5-3 汚水処理の推進

担当課: 上下水道課等

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
水洗化率	74.3%	74.3%	76.8%
水洗化人口	20,709 人	20,732 人	21,190 人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-3-1 生活排水処理施設の整備

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
生活排水処理率	83.0%	81.9%	86.1%
下水道接続率	82.7%	84.4%	83.3%

【評価コメント】

「生活排水処理率」は、目標値に達していないものの、毎年度着実に向上している。また、「下水道接続率」は、目標値を達成している。今後も、引き続き、下水道整備済み区域内における未接続者への接続勧奨並びに下水道整備済み区域外における合併浄化槽の設置促進に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
合併処理浄化槽設置整備事業(住民生活課)	継続

基本事業 5-3-2 健全な下水道経営の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
経費回収率(公共・漁集・農集事業の計)	113.3%	91.6%	113.3%
汚水処理原価(公共・漁集・農集事業の計)	150.3 円/m ³	161.6 円/m ³	150.3 円/m ³

【評価コメント】

「経費回収率」及び「汚水処理原価」の両指標ともR3年度から1度も目標値に達していない。汚水処理原価が上がれば、当然、経費回収率は下がる。現状、両指標の達成には、さらなる経費削減か、もしくは、使用料の値上げ以外方策はないと言える。健全な下水道経営の推進のため、上下水道課として、今後の方策を精査して頂きたい。

5-4 快適な都市機能の充実と景観まちづくりの推進

担当課:都市建設課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
住宅や商業施設・病院・公園などが計画的に開発・配置されていると思う町民の割合	66.4%	59.3%	70.0%
土地政策・道路整備等の誘導施策に伴い新築された住宅数(R3~7年度累計)	60戸	108戸	100戸

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-4-1 都市計画街路・町道などの整備 **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
都市計画路の整備率	—	—	62.1%
町道改良率	67.0%	66.3%	70.0%
橋梁長寿命化整備数(累計)	17箇所	17箇所	21箇所

【評価コメント】

「橋梁長寿命化整備数」は、点検も含め、毎年度計画的に実施され、R5年度は、目標値を達成した。また、「町道改良率」は、目標値に達していないものの、毎年度着実に整備を進めている。引き続き、計画的に都市計画街路・町道・橋梁の整備に取り組んで頂きたい。

基本事業 5-4-2 計画的な土地利用と市街地整備の充実 **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
都市計画における土地利用の誘導策となる計画の策定	—	—	1個
まちづくりワークショップの開催(年間)	—	—	1回
公園の設備に満足している町民の割合	68.0%	66.9%	70.0%
糸ヶ浜海浜公園の利用者数(年間) ※宿泊客・日帰り客の合算	46,900人	39,072人	46,900人
豊岡公園の整備率	7.6% (85.0%)	4.0% (82.4%)	11.8% (100%)

【評価コメント】

「公園の設備に満足している町民の割合」の目標達成率は高いものの、3割以上の町民が満足していない状況にある。町民のニーズを十分把握し、より良い公園の整備に取り組んで頂きたい。「糸ヶ浜海浜公園の年間利用者数」は、目標値には達していないものの、コロナ禍以前の水準に回復した。引き続き、施設改修等、必要な整備等を講じ、公園環境の充実に取り組んで頂きたい。また、立地適正化計画の策定についても、計画的に取り組んで頂きたい。

基本事業 5-4-3 景観まちづくりの推進

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
景観計画に基づく運用協議会開催数(年間)	—	—	1回

【評価コメント】

R6年度中に、日出町景観計画を策定し、日出町景観条例を施行できるよう、計画的に取り組んで頂きたい。また、景観計画に基づく運用協議会については、日出町景観条例制定後、適時、開催して頂きたい。

基本事業 5-4-4 空き家対策

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
老朽危険家屋の除去件数(累計)	11件	12件	15件
空き家バンク物件成約件数(H28以降の累計) ※数値はいずれも年度末時点	100件	109件	130件
空き家の利活用促進に係る協議会の開催回数(年間)	2回	6回	2回

【評価コメント】

「老朽危険家屋の除去件数」、「空き家バンク物件成約件数」及び「空き家の利活用促進に係る協議会の開催件数」のすべての指標で、目標値を達成している。老朽危険家屋の除去については、対象家屋の所有者又は管理者に対し、取壊勧奨を行い、適切に老朽危険家屋を除去することで、地域の安全性の低下や公衆衛生の悪化、景観の阻害等、問題解決に引き続き取り組んで頂きたい。

基本事業 5-4-5 公営住宅の適正な管理

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
町営住宅入居率	78.0%	94.4%	92.0%
町営住宅管理戸数	270戸	275戸	230戸

【評価コメント】

「町営住宅入居率」は、目標値を達成している。一方で、「町営住宅管理戸数」は、目標値に達していない。青津山住宅建替事業について、当初の計画から若干の遅れが生じているように思われる。青津山住宅入居者の移転並びに建物の取壊しの取り組みを強化し、公営住宅の適正な管理に取り組んで頂きたい。

5-5 公共交通の充実

担当課:まちづくり推進課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
町内の公共交通に満足している町民の割合	66.0%	48.2%	70.0%
コミュニティ交通利用者1人あたりの経費	2,500円	2,707円	1,000円

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-5-1 地域内交通網の充実 **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
交通不便地域残存数	0区	0区	0区
地域内フィーダー交通年間利用者数	30,000人	6,491人	50,000人
コミュニティ交通利用者1人あたりの経費	2,500円	2,707円	1,000円

【評価コメント】

デマンド型公共交通の全域導入により、「交通不便地域」が完全に解消された。また、「コミュニティ交通利用者1人あたりの経費」は目標値に達していないものの、前年度から500円以上の削減を実現した。また、「地域内フィーダー交通年間利用者数」も目標値に達していないものの、今後は、デマンド型公共交通の利用促進により、「地域内フィーダー交通年間利用者数」の増加と「コミュニティ交通利用者1人あたりの経費」の削減に取り組むとともに、コミュニティバス路線の再編等、さらなる地域内交通網の充実に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
コミュニティバス運行事業	継続
デマンド型地域公共交通運行事業	継続

基本事業 5-5-2 広域交通網の利用促進 **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
町内 JR 駅平均乗車人員(JR 九州公表資料)	2,300人	一人	2,400人
地域内フィーダー交通と幹線交通の結節点の数	20箇所	18箇所	20箇所

【評価コメント】

「地域内フィーダー交通と幹線交通の結節点の数」は目標値に達していないものの、デマンド型公共交通の全域導入により、その数は大幅に増えた。今後も、引き続き、地域内フィーダー交通と幹線交通を結節し、広域交通網の利用環境の整備に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
公共交通関係振興事業	継続

6-1 人権を尊重する社会づくり

担当課:住民生活課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
人権が尊重されていると思う市民の割合	85.0%	90.1%	88.0%
人権に関する講演会や研修会に参加したことがある市民の割合(累計)	30.0%	50.1%	50.0%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 6-1-1 生涯学習の視点に立った人権教育の推進

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
町が開催・支援する人権の研修、講演会の開催数(年間)	14回	16回	20回
町が開催・支援する人権の研修、講演会の参加者数(年間)	800人	906人	1,200人

【評価コメント】

新型コロナウイルス感染症が5類移行したとは言え、「町が開催・支援する人権の研修、講演会の開催数」が目標値を達成し、また、「町が開催・支援する人権の研修、講演会の年間参加者数」が前年度と比べ、342人の大幅増加により、目標値を達成したことは、市民ニーズに合った適切なテーマ設定や効果的な啓発及び開催周知の取り組みの成果と言える。引き続き、社会教育課と十分連携し、生涯学習の視点に立った人権教育の推進に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
人権推進差別解消啓発事業	継続

基本事業 6-1-2 あらゆる場における人権教育・啓発の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
広報紙・町ホームページでの啓発の回数(年間)	25回	18回	30回
特定の職業に従事する者への研修の開催数	7回	39回	10回

【評価コメント】

「広報紙・町 HP での啓発の回数」は、前年度と比べ3回増えたものの、目標値には達していない。再度、課内で最終目標値(啓発回数)を確認し、年間計画を作成するなど、SNS 等も活用し、計画的に広く啓発広報に取り組んで頂きたい。また、「特定の職業に従事する者への研修の開催数」は、前年度に比べ、30回も大幅に増え、目標値を達成している。R6年度以降も引き続き、特定の職業に従事する者に該当する新たな対象者を模索し、あらゆる場における人権教育・啓発の推進に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
人権推進差別解消啓発事業	継続

基本事業 6-1-3 男女共同参画社会の推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない町民の割合	68.0%	86.7%	70.0%
町の審議会等における女性委員の割合	32.0%	21.6%	40.0%

【評価コメント】

「男は仕事、女は家庭という考え方に同感しない町民の割合」は、前年度から17.4ポイントと大きく向上し、目標値を達成している一方で、「町の審議会等における女性委員の割合」に改善が見られない。昨年度の指摘同様、今後、各所属長に対し、本指標の最終目標値(40%)を周知するとともに、各種審議会ごとの委員の男女比率を課長会等で公表するなど、男女共同参画社会の推進のために、まずは、役場内の意識を変えるよう取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
男女共同参画事業	改善

6-2 町民とともに創る持続可能なまちづくり

担当課:まちづくり推進課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
まちづくり協議会(推進組織)の設立件数	4 件	1 件	6 件
共創のまちづくり支援事業の団体活動支援枠で取組のあった団体数(年間)	5 団体	4 団体	6 団体

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 6-2-1 共創のまちづくりを進める仕組みづくり **重プ①**

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
地域課題に向けたワークショップ、講座等の開催数(年間)	3 回	3 回	3 回
「共創のまちづくり」について必要と感じている町民の割合	88.0%	91.6%	90.0%

【評価コメント】

「地域課題に向けたワークショップ、講座等の開催数」及び「共創のまちづくりについて必要と感じている町民の割合」の両指標とも目標値を達成している。引き続き、地域課題に向けたワークショップ等を計画的に開催し、共創のまちづくりを進めるための人材の育成並びに町民意識の醸成に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
自治区・区長会支援事業(総務課)	改善
共創のまちづくり支援事業	継続

基本事業 6-2-2 町民が主体となった地域づくり組織の育成・支援 **重プ①**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 実績値	R5 実績率	R7 最終目標値
校区別まちづくり計画の策定数(累計)	4 件	0 件	6 件
まちづくり協議会(地域自主運営組織)及び類似組織の設立数(累計)	4 団体	1 団体	6 団体

地域おこし協力隊・集落支援員の配置数(累計)	4人	4人	6人
------------------------	----	----	----

【評価コメント】

「地域おこし協力隊・集落支援員の配置数」は目標値を達成している。今後も、地域おこし協力隊等を十分活用し、地域活性化などに取り組んで頂きたい。また、「校区別まちづくり計画の策定数」及び「まちづくり協議会(地域自主運営組織)及び類似組織の設立数」については、このままでは目標値の達成は見込めない。校区別まちづくり計画の策定並びにまちづくり協議会等の設立について、まちづくり推進課として、今後の取組み方針等を精査して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
地域おこし協力隊事業	継続

基本事業 6-2-3 多様な担い手による地域づくりの推進

【行政評価会議による評価】 B (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
高校・大学・企業等との連携事業数(年間)	2事業	3事業	3事業
共創のまちづくり支援事業の団体活動支援枠で取組のあった団体数(年間)	5団体	4団体	6団体

【評価コメント】

「高校・大学・企業等との連携事業数」は、前年度に引き続き、目標値を達成しており、着実に取り組んでいる。但し、連携先が大学のみであり、今後は、高校や企業等との連携事業も模索して頂きたい。また、「共創のまちづくり支援事業の団体活動支援枠で取組のあった団体数」については、目標値に達していないものの、前年度から3団体増えた。引き続き、多様な担い手による地域活性化に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
共創のまちづくり支援事業	継続

基本事業 6-2-4 「公共私」連携と「公」の広域化の推進

【指標の達成状況】 A (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
地域課題の解決のために官民が連携した取り組みの数(累計)	3事業	4事業	5事業
他市町村との広域連携に基づく新たな取り組みの数(累計)	3件	4件	5件

【評価コメント】

「地域課題の解決のために官民が連携した取り組みの数」及び「他市町村との広域連携に基づく新たな取り組み

の数」は両指標とも目標値を達成しており、毎年度、順調にその取組みが増えている。今後も引き続き、「公共私」連携と「公」の広域化の推進に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
大分都市広域圏連携事業	継続

6-3 移住・定住施策の推進

担当課:まちづくり推進課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
移住促進策による移住者数(年間)	60人	62人	70人
人口の社会増加数(年間)	145人	74人	170人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 6-3-1 情報発信と移住支援体制の強化

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
町 HP 年間閲覧数(移住・空き家バンク情報)	38,000pv	27,280pv	40,000pv
移住促進施策による年間移住者数	60人	62人	70人
空き家バンク物件登録件数(累計)	120件	145件	150件
空き家バンク成約件数(累計)	100件	109件	130件
空き家の利活用促進に係る協議会の開催件数(年間)	2回	6回	2回

【評価コメント】

「移住促進施策による年間移住者数」、「空き家バンク物件登録件数」、「空き家バンク成約件数」及び「空き家の利活用促進に係る協議会の開催件数」のすべての指標は、いずれも目標を達成している。一方で、「町HP年間閲覧数(移住・空き家バンク情報)」が年々大きく減少している。今後は、更なる移住者の獲得(人口の社会増)のために、移住・空き家バンク情報など、移住促進に係る情報発信の取組みを強化して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
移住・定住促進事業	継続
エニワン・ウェルカム・タウン推進事業	改善

基本事業 6-3-2 「しごと」を創出し、「ひと」を誘致する

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
町内事業所数(累計)	1,170 件	1,138 件	1,200 件
雇用創出数(累計)	300 人	45 人	500 人
人口の社会増加数(年間)	145 人	74 人	170 人

【評価コメント】

「雇用創出数」及び「人口の社会増加数」の両指標とも目標値に達していないものの、企業誘致と雇用の創出並びに移住・定住施策の推進の取組みにより、着実に成果を挙げている。今後も引き続き、人口の社会増に向けて、取り組んで頂きたい。

基本事業 6-3-3 日出町のファン獲得 重プ①

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 最終目標値
ふるさと寄附金の寄附件数(寄附金額)	35,000 件 (9.00 億円)	40,312 件 (8.95 億円)	40,000 件 (10 億円)
町公式 SNS フォロワー数	8,500 人	14,940 人	10,000 人

【評価コメント】

「ふるさと寄附金の寄附件数・寄附金額」は、毎年度、順調に伸びており、目標値をほぼ達成している。今後も、寄附金額10億円突破を目指し、返礼品の充実を図るとともに、町内ホテル宿泊者へのチラシ配布等、新たな手法も含め、引き続き、着実に取り組んで頂きたい。また、「町公式SNSフォロワー数」も総フォロワー数として1万人を超え、目標値を達成している。今後は、町公式 SNS を最大限活用した町の魅力発信により、更なる日出町のファン獲得に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
ふるさと寄附金事業	継続